

## 平成30年度優良図書の推奨・有害図書の指定について

### 1 優良図書の推奨

推奨年月日：平成30年 7 月31日

題 名	かならずお返事書くからね
発 行 所	P H P 研究所
著 者 等	著 者：ケイトリン・アリフィレンカ、マーティン・ギャンダ 編 集：リズ・ウェルチ 翻訳者：大浦千鶴子
推奨理由	アメリカのごく普通の少女ケイトリンは、学校の課題で、聞いたことのないアフリカの国ジンバブエの少年マーティンと文通を始める。二人は文通を通して仲良くなり、互いの返事を心待ちにするようになる。しかし、政情不安定なジンバブエのスラム街に住んでいるマーティンは、成績は優秀でも生活さえまもらない状態。やがて返事も来なくなり、実情を知ったケイトリンはマーティンのために動きだす。1万キロの距離を越えて親友として心を通わせた二人の実話。他者を信じ、他者のために尽くしていく、その素晴らしさに感銘を受ける作品である。(出版は平成30年3月)

推奨年月日：平成30年11月27日

題 名	クニマスは生きていた！
発 行 所	株式会社汐文社
著 者 等	著 者：池田まき子
推奨理由	かつて田沢湖では、国鱒漁を生業にして生活していた人たちがいた。しかし、水力発電及び農業用水のためのダム湖にするため酸性水が導入され、湖は魚が住めなくなってしまう。もちろん田沢湖にしかないなかった国鱒も姿を消した。この本では、秋田県田沢湖の現在に至るまでの史実が分かりやすくつづられ、最後のクニマス漁師・久兵衛さんの強い思いも伝わってくる。郷土秋田を担う次世代の青少年が、自然とどのように向き合っていたら良いのか深く考えさせられる一冊。(出版は平成29年11月)

推奨年月日：平成31年 3 月12日

題 名	流鏝馬ガール！
発 行 所	株式会社ポプラ社
著 者 等	著 者：相戸結衣
推奨理由	舞台は流鏝馬がさかんな青森県十和田市。流鏝馬の練習で大怪我をし相棒の馬を死なせてしまった過去を持つ舞衣子は、高校入学後は弓道部に入部を決める。同じクラスには、かつての舞衣子の流鏝馬姿を見て、流鏝馬をするために東京から引っ越してきた弓道の元国体選手美鶴がいた。美鶴は舞衣子と一緒に流鏝馬をしようと誘うが、舞衣子は過去の事故を乗り越えられていなかった。 高校生が身近に感じられる悩みも描かれており、東北秋田に暮らす自分と重ね合わせて読めるような作品である。(出版は平成30年8月)